

松江だんだん

会報第11号

【平成30年度】



不昧公（松江松平藩7代藩主 松平治郷）ゆかりの明々庵より松江城を望む

近畿松江会

ふるさと松江

作詞 近畿松江会

- | | | | | | |
|---|---------------------|--------------|---|-------------------------------------|----------------|
| 一 | 神話は語る しんわ かなた | 佐陀加賀 さだかか | 四 | 牡丹薫る ぼたんかほ | 八束路 やつかじ |
| | ご縁嬉し えんうれ | 八重垣 やえがき | | 紫烟けむる しえん | 中海 なかうみ |
| | 熊野神魂も くまのかもと | 鎮座して ちんざ | | 恵比寿シヨコホイ えびす | 五本松 ごほんまつ |
| | だんだん 松江 だんだん まつえ | ふるさと | | だんだん 松江 だんだん まつえ | ふるさと |
| 二 | 千鳥お城 ちどり しろ | 石垣 いしがき | 五 | 意宇川ほとり いへがわ | 阿陀加夜 あだかや |
| | 嫁が島に よめ しま | 茜さす あかね | | 城の稻荷 しろいね | 神幸祭 かみゆきまつり |
| | 松江大橋 まつえおほはし | カラコロと | | 掛声華やか かこゝろ | ホーランエンヤ |
| | だんだん 松江 だんだん まつえ | ふるさと | | だんだん 松江 だんだん まつえ | ふるさと |
| 三 | 蜆美味し しじみおい | 宍道湖 しんじこ | | 曲は 故郷（ふるさと）作曲 岡野 貞一 うさぎ追いし かの山…… | |
| | 波に遊ぶ なみ あそぶ | 夕鴨 ゆうかも | | | |
| | 勾玉湯の町 まがたま ゆ | 浴衣がけ ゆかた | | | |
| | だんだん 松江 だんだん まつえ | ふるさと | | | |

※ 近畿松江会では歌詞を募集しています

ご応募は事務局へお問合せください

松江だんだん 近畿松江会 会報第 11 号

目 次

| | |
|---|----------------------------------|
| 表紙題字 | ・ ・ ・ 近畿松江会 元顧問 和田亮介氏 |
| 会歌「ふるさと松江」 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 作詞 近畿松江会 |
| 目 次 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 1 |
| 平成 3 0 年度総会・懇親会報告 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 2 |
| 総会・懇親会参加者名簿 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 5 |
| ご 挨拶 近畿松江会 会長 <small>いとう まさはる</small> 伊藤 征治 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 6 |
| 松江市長 <small>まつうら まさたか</small> 松浦 正敬 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 8 |
| 平成 2 9 年度事業報告 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 9 |
| 近畿松江会この一年 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 10 |
| 平成 2 9 年度収支決算報告 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 12 |
| 平成 3 0 年度事業計画 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 13 |
| 平成 3 0 年度収支予算書 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 14 |
| 基調講演 <small>あさえだ のぶひこ</small> 朝枝 信彦氏 | 編集担当 渡辺悟 |
| (バイオリン演奏とトーク) | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 15 |
| 寄稿集 わがふるさと“松江だんだん” | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 17 |
| ◆石橋町 田中裕子 ◆宍道町 木幡晃正 ◆玉湯町 永瀬丈嗣 | |
| ◆天神町 長谷川浩之◆和多見町 古浦信弘 | |
| 寄 稿 “方言だんだんを考える” 佐和田 丸 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 22 |
| (方言の分類と“しま弁”コーナー 竹谷 奨) | |
| 近畿松江会 平成 3 0 年度役員名簿 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 23 |
| 会員名簿 (出身町・中小学校区別) | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 24 |
| 広 告 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 28 |
| お知らせ・編集後記 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 34 |
| 巻末資料：表紙についてほか | |

第13回 近畿松江会

総会・懇親会 報告

第13回近畿松江会総会・懇親会は好天に恵まれ、5月27日（日）11時から新大阪のニューオーサカホテル 3Fの淀の間に、ご来賓 27名、会員・会友 70名、計 97名のご参加をいただき、盛会裡に開催いたしました。

◆総会

常任幹事の鶴羽孝子さん（西持田町）の司会で、最初に小川龍朗副会長（島根町）から、会員の皆様にご参集いただいたことへの御礼の「開会のことば」で始まりました。続いて、「会長挨拶」を伊藤征治会長（北堀町）から申し上げました。（詳細別掲）



伊藤会長からは、皆様に、この一年ぶりの懇親の場を楽しく過ごしていただくのが一番の目的であることと、今後とも松江会が継続して開催できるようご協力を仰ぎたいとのお願いがありました。

また、来年5月16日から前回から10年ぶりの「ホーランエンヤ」が開催されることが本決まりになったことを紹介され、来年はこの機に合わせてこの松江会も松江で開催する計画を始めたこと。また、今年11月10日に近畿島根県人会の総会が開催されるが、その実行委員長を、今年には松江会会長がつとめることになっているので、皆様には島根県人会にもご参加いただければ幸いであること、の二点を紹介されました。

続いて、所定の「総会議事」に入り、議事は竹谷奨事務局長（八束町）から平成29年度事業報告と決算報告がなされ、木原貢監事（宍道町）から監査報告がなされ、満場の拍手でご承

認をいただきました。次いで、平成30年度事業計画と予算案について竹谷奨事務局長から報告があり、同じく承認をいただいて、議事は無事に終了いたしました。（詳細別掲）

その後、井上隆吉副会長（上東川津町）よりゴルフ同好会の活動状況とご参加のお誘いがありました。

最後に押田良樹常任幹事（大庭町）から「総会の閉会のことば」として、皆様のご協力に御礼を申し上げ、総会はすべて無事に終了しました。



また、ご自分が昨年この場で、高橋一清松江観光文化プロデューサーが「松江と水」の関係について話されたことからヒントを得られて、「松江の橋めぐり」をすると広言をされたことについて以下の中間報告をされました。

松江市全体では約1,200本弱、旧市内で約560本の橋があつてまさに水の都にふさわしい状況であるが、この一年、松江に帰るたびに橋を訪ね歩いているが、結果はまだ61本で「日暮れて道遠し」とため息をつくような思いである。しかし、おかげで深くは知らなかった松江のあちこちをあらためて知ることができて楽しくも思っている、というご報告でした。

◆講演

本年度の講演は、渡辺悟常任幹事（北田町）の司会で、音楽監督の朝枝信彦先生にトークとヴァイオリンの演奏をいただくという形でおこなわれました。

朝枝先生は、元マンハイム国立劇場管弦楽団コンサートマスターで、2015年よりご縁があつて「松江クラシックス音楽祭」の音楽監督をされており、松江との出会いや、音楽祭との関わりについての興味深いお話をいただき、その間に、バッハ作曲「無伴奏パルティータ No.3

ホ短調」から「プレリュード」、「ガボット」、「ジグ」の3曲を演奏いただきました。

フレンドリーなトークと、バイオリンの澄んだ音色が会場を包み、ゆるやかな時間が流れました。(詳細別掲)

◆懇親会

休憩の後、お待ちかねの懇親会が茂居理智子常任幹事（豎町）の司会で始まりました。

最初に、木村恵吉常任幹事（雑賀町）から、

「開会のことば」で、懇親会の終わるまで明るく楽しくまいりましょうというご挨拶をいただきました。また、カメラ得意



の木村様からは、松江の四季折々の写真を近畿松江会のホームページに、風物詩として掲載しているのでは是非ご覧いただきたいとのご紹介もありました。

続いて、ご来賓を代表して松浦正敬松江市長の「祝辞」をいただきました。松浦市長からは近畿松江会の松江市に対する日頃の活動に対する感謝の言葉をいただくと同時に、4月より中核市になったことのご報告と、住みやすさなど、若い方が定着しやすい各面での街づくりに今後とも力を注いでいきたいという力強いお話を頂戴いたしました。(詳細別掲)

続いて、田中裕子常任幹事（石橋町）から、「来賓全員のご紹介と祝電披露」をおこないました。また、錦織裕司松江市観光振興部長から



は、松江市における今年度の「不昧公 200 年祭」の様や、来年開催される「ホーラーエンヤ」のご紹介をいただき、沢山の皆様が打ち揃って松江にお帰りいただくようにとのお願いをいただきました。

そして、待ちに待った「乾杯のご発声」を森脇勇人松江市議会議長にお願いをいたしました。森脇議長からは松江商業野球部時代の思い出に触れられながら、スポーツの振興という観点でも松江市のために尽くしていきたいとの力強いご挨拶をいただき、全員声高らかに「乾杯」をして、会食・歓談へと進みました。





なごやかな懇親会がテーブルごとに、またテーブルを超えていつまでも続くかと思われるほどでしたが、松浦市長、松江市の幹部の皆様



が帰松の途につかれるのを全員でお見送りした後、恒例の最後の大行

事、「福引き大抽選会」に移りました。

空くじなしでの、豪華な松江産品の福引大会を混乱もなく終えるのは至難の業なのですが、司会の茂居さん、竹谷幹事長、そして役員の皆様のご協力のお蔭で、今年も無事に終えることができました。皆さん、ご苦労さまでした。

こうして賑わうなかを、会歌「ふるさと松江」を大合唱してふるさとに思いを馳せた後、いよいよ近畿島根県人会戸津川明克会長にお願いしての「万歳三唱」となりました。



戸津川会長からは、松江はいろいろなすばらしい財産を持っている上に、今度は朝枝先生のような方のソフトの力が注がれるということに羨ましい限りだ、と言うお言葉をいただきました。有難く、謙虚な気持ちで受け止めさせていただきたいと思います。



最後に「閉会のことば」を松本耕司常任幹事(上本庄町)から申しあげ、来年の再会を約してなごやかな裡に解散いたしました。

また、「書籍販売」では、池田喜美代様(石橋町)、山寄麻里子様(石橋町)に松江が誇る地域文化の情報誌「湖都松江」35号の販売のご協力をいただきました。お二人には紙面をお借りして厚く御礼申しあげます。



第13回総会・懇親会出席者名簿

全97名様

一 来 賓 一

27名様

| | | | |
|------------------|-------|------------------|------|
| 松江市長 | 松浦正敬 | 関西岩見沢会 | 北浦和憲 |
| 松江市市議会議長 | 森脇勇人 | 鹿児島県人会 | 野元勝 |
| 松江市政策部長 | 井田克己 | | |
| 松江市観光振興部長 | 錦織裕司 | 近畿大社会 会長 | 千家敬磨 |
| 松江市歴史まちづくり部長 | 藤原亮彦 | 近畿いずも会 副会長 | 鳥屋尾勇 |
| 松江市市議会事務局次長 | 二村真 | 穴道会 会長 | 木原貢 |
| 松江市政策部秘書広報課長 | 西田和之 | | |
| 松江商工会議所専務理事 | 松浦俊彦 | 近畿双松会 会長 | 松本耕司 |
| (一社)松江観光協会参与 | 大塚享義 | 関西矢の原会 会長 | 永瀬丈嗣 |
| 公演者 ヴァイオリニスト | 朝枝信彦 | 振商会近畿支部 支部長 | 松尾年浩 |
| | | 工窓会近畿支部 会長 | 三澤正 |
| 近畿島根県人会 会長 | 戸津川明克 | 松江女子高皆美が丘会 関西支部長 | 田中裕子 |
| 島根県大阪事務所 所長 | 本廣保徳 | 関西中の海会 会長 | 車野礼二 |
| 山陰中央新報大阪支社 支社長 | 赤井真一郎 | | |
| 京都島根県人会 会長 | 林邦幸 | | |
| 京都島根県人会 副会長/事務局長 | 下田弘子 | | |
| 京都島根県人会 常任幹事 | 奥井徳栄 | | |

一 会 員 ・ 会 友 一

70名様

| | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 有田鋼司 (栄町) | 池田喜美代 (石橋町) | 石田裕子 (安来市) |
| 伊藤征治 (北堀町) | 伊藤雅義 (穴道町) | 井上芳子 (石橋町) |
| 井上隆吉 (上東川津町) | 今井憲子 (西川津町) | 梅木隆志 (美保関町) |
| 浦晴子 (安来市) | 榎本智恵 (大阪市) | 太田明宏 (東津田町) |
| 大堀裕子 (内中原町) | 小川龍朗 (島根町) | 小川ちづる (大阪市) |
| 押田良樹 (大庭町) | 小田一美 (堂形町) | 景山克雄 (法吉町) |
| 勝田純一 (松江市) | 門脇基 (八束町) | 門脇幸夫 (八束町) |
| 嫡木孝子 (寺町) | 神谷紀男 (上乃木) | 木村恵吉 (雑賀町) |
| 木村八重子 (東本町) | 小泉勝是 (石橋町) | 古浦信弘 (和多見町) |
| 小高久始 (穴道町) | 木幡晃正 (穴道町) | 近藤龍也 (上乃木) |
| 佐藤早智子 (雑賀町) | 佐和田丸 (飯南町) | 篠木豊 (西尾町) |
| 清水良子 (石橋町) | 曾田良子 (古志原町) | 武田貞雄 (雑賀町) |
| 竹谷奨 (八束町) | 田中一男 (和多見町) | 田中繁法 (鹿児島市) |
| 田中農子 (穴道町) | 田部拓生 (本庄町) | 鶴羽孝子 (西持田町) |
| 友田公一 (大阪市) | 中村博行 (新町) | 野津一雄 (内中原) |
| 野津博道 (南田町) | 野津ゆう子 (黒田町) | 長谷川紀美子 (玉湯町) |
| 長谷川忠雄 (灘町) | 長谷川浩之 (天神町) | 樋野美紀 (広瀬町) |
| 平山恭子 (古志原町) | 藤坂満 (泉大津市) | 藤坂優子 (西津田町) |
| 藤田宏 (八雲町) | 別所裕志 (玉湯町) | 松本育郎 (上本庄町) |
| 松本多美枝 (上本庄町) | 松本美奈子 (上本庄町) | 村尾俊治 (東朝日町) |
| 茂居理智子 (豎町) | 森藤哲章 (広瀬町) | 森脇克己 (玉湯町) |
| 安島幸雄 (和田見町) | 山寄麻里子 (石橋町) | 吉岡夢都 (隠岐) |
| 若松靖子 (隠岐) | 脇田健晶 (大阪市) | 脇田茂子 (大阪市) |
| 渡辺悟 (田町) | | |

ご挨拶「第13回近畿松江会総会・懇親会によせて」 会長 伊藤征治



去る5月27日、略一年振りに会員の皆様、ご来臨戴きました方々にお会いし、限られた時間ではありましたが、わいわいがやがやと賑やかに旧交を温めるひと時を共有させていただきました。

私自身平成25年以降、素晴らしいスタッフの皆さんのご支援ご尽力により5回目の総会・懇親会に関わらせていただきました。何時の場合も開催前は、ご出席戴いた方々にお喜び、お愉しみ戴けるだろうか、終了後の反省では次回以降もお気軽に、お気持ち良くご参加戴けるだけの対応が出来たでしょうか？の連続ですが、スタッフのチームワークよろしきを得て、そして何よりもご出席戴きました皆様の変わらぬご支援・ご鞭撻により今回も無事終了する事が出来ました。

毎回の事ではあります竹谷幹事長から、事前にご出席の方々のご芳名をお聞きし、毎回ご出席戴いておられる方、前回までご拝顔に接していましたが今回ご欠席される方、あるいは久しぶりにお会いできる方々に想いを致して当日を迎えている次第です。

また、会員からのお誘いにご対応いただき、初めてご参加いただき、これを機会に当会の趣旨にご賛同の上、早速会員にご加入戴きました方々には、大変力強いご支援と存じ、有り難く感謝申し上げる次第であります。今後とも末永くご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

風土・風習・歴史等々素晴らしい故郷『まつえ』を共有する者の一人として、当会を次世代へ継承して行くことが私自身の務めと思っております。然り乍ら、ご多分に漏れず少子高齢化の波は当会にも間違いなく寄せてきており、次世代への継承にはいろいろと苦慮するところであります。

当『近畿松江会』も漸く十三年を重ねてきましたが、出身地が松江市、或は松江市に関わりのある方の中には、未だ当会の存在自体をご存知でない方々が大勢いらっしゃるかと承知しております。そこで、私達関係者といたしましては、

◎専任の担当者により『近畿松江会ホームページ』の更新、お知らせ等でPRに務めております。

◎各高等学校近畿地区同窓会への働き掛けにより、『近畿松江会』のことを更に多くの人に知ってもらえるよう、務めております。

皆様におかれましても、他の会合等で松江関係の人にお会いされました際には、是非とも『近畿松江会』のPRにご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

私は、最近月2回の松江市からのメールマガジンで、松浦市長様からのメッセージ、松江市の動き等を拝見するのを楽しみにしておりますが、今年は◎不昧公200年祭が4月から始まり、◎昨年11月に決定していた中核都市(全国54市)仲間入りも4月から本格スタートし、◎昨年、当会でご講演頂いた「国引きジオパーク構想」が、『島根半島・宍道湖中海ジオパーク』と名前を替えて日本ジオパークに認定されるなど、松江市は盛り沢山の行事が予定され、メールマガジンの話題が尽きることもありませんでした。

このご多忙の中を、例年通り近畿松江会総会・懇親会に松浦松江市長様はじめ各部署責任者の皆様のご来駕を戴きました。更には戸津川近畿島根県人会会長様はじめ日頃何かと

ご昵懇戴いております各方面の皆様のご来駕を戴きました。会員を代表致しまして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

私ども役員と致しましては、古き良き文化・伝統のある、何よりも人間関係の温かい故郷を共有している近畿松江会の更なる発展と、会員皆様相互の親睦を図り、郷土の発展と活性化に積極的に貢献できますよう、微力ながら注力したいと思っております。

会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げますとともに、引き続きご指導・ご支援の程、紙面をお借りしてお願い申し上げます。

以上

【追記】最後になりますが、私から皆様に下記二つのお願い事をさせていただきます。

(1) その一つは、来年、故郷松江で10年ぶりにおこなわれる『ホーランエンヤ』に参加するため、当会として『バスツアーを企画する』というご案内です。

この船行列は、城山稻荷神社の式年神幸祭で、ご神体を載せた船団が宍道湖・大橋川・中海・意宇川を通り阿太加夜神社に渡る『日本三大船神事』の一つ、『渡御祭』です。

この文化遺産を全市民あげて保存し次世代に引き継ぐため、今回から10年ごとの開催と定められましたが、2019年5月18日が「渡御祭」、22日が「中日祭」、26日が「還御祭」と具体的な日程も定められました。



近畿松江会としては、来年の近畿松江会総会・懇親会をこの日に合わせ松江でおこない、ホーランエンヤ見学とセットの『バスツアー』として企画することとしました。ホテルの手配、バスの手配等の概略が固まりましたら、速やかにご案内を差し上げる予定ですので、来年5月にはご家族、ご友人などの多数のご参加をお願い申し上げます。

(2) 今一つは、本年11月10日に予定されている『第56回近畿島根県人会総会・懇親会』のご案内についてです。

本年は、私、『近畿松江会会長』が実行委員長となり『近畿安来会』『関西奥出雲会』三地区の共催で既に準備を進めているところですが、折角の機会ですので盛会でありたいと心より願っているところでございます。

県人会に登録をされている方には8月末までには県事務所から案内が発送される予定ですが、登録をされていない方、初めての方も大歓迎ですので、どうぞお誘いあわせの上、沢山の松江市・島根県ご出身者のご参加をお願いする次第です。

(初めての方の県人会参加申し込み手続きは近畿松江会HPをご確認ください。)

以上

近畿松江会の皆さまへ 松江市長 松浦正敬



皆さまこんにちは。第 13 回近畿松江会総会・懇親会の開催、誠にありがとうございます。皆さまには平素よりふるさと松江を愛し、さまざまな活動を行っていただいていることに心から感謝を申し上げます。本日の講演会では、世界的なバイオリニストである朝枝先生からお話と演奏をしていただくことになっています。朝枝先生には松江クラシックスの音楽監督として、先日も松江城馬溜で初の野外コンサートを開催されました。私も当日会場で、その演奏の迫りに圧倒され、新たな文化のうねりが松江に起こりそうな予感に感動しました。今後、日常生活のなかでクラシックを楽しむ、そういうスタイルが定着し、音楽を通じたまちづくりへと発展していくことを期待しています。

また、この 4 月から中核市となり、これまで行ってきた介護・福祉に加え、医療的なケアが必要な乳幼児の支援や感染症対策をはじめとする医療行政の一翼を担うことになりました。これにより、市民に身近なサービスのほとんど全てを一体的に提供することができる体制が整ったといえます。人口減少社会に突入し、国との関係、地方自治体同士の関係、行政と市民との関わり方も大きく変わりつつあるなか、最も市民に近い基礎自治体として、より一層責任ある立場で市民サービスの向上を目指してまいりたいと思います。

そして、今年松平不昧公の没後 200 年という節目にあたります。4 月からは「不昧公 200 年祭記念事業」と銘打ち、気軽にお茶を楽しめることを主眼に、茶の湯文化を内外に発信する取り組みを展開しています。加えて、来年 5 月には 10 年ぶりにホーランエンヤが開催されます。来年は改元元年で、明治 22 年の市制施行から 130 周年にあたります。こうした記念の年に、一大伝統行事が開催されますことはたいへん意義深く、多くの方々に日本一の素晴らしいホーランエンヤが披露され、その感動が全国に発信されるよう取り組んでいきたいと思っています。

そういうなかで、先般、日経 B P の調査「全国自治体子育てランキング」で松江は全国 11 位、中四国 1 位となりました。長年、取り組んできた子育て環境日本一の取り組みが高く評価されたことをたいへん嬉しく思います。いま、私たちは、これからの松江を将来にわたって、持続的で魅力あふれる「選ばれるまち」としていくことを目標に掲げ取り組んでいるところですが、今回のニュースは、私たちの地方創生の取り組みに大きな弾みがつくものと感じています。今後とも、さまざまな関係者の皆さまと一緒に、粘り強い取り組みを進めてまいりますので、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いします。

最後になりますが、近畿松江会のますますのご発展と、会員の皆さまのご活躍を祈念してごあいさついたします。

平成 29 年 度 事 業 報 告

| 月 日 | 曜日 | 時間 | 行 事 等 の 内 容 | 場 所 |
|----------|----|-------|--|-----------------|
| 1月13日 | 金 | 18:00 | 全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈 役員 | 加茂川館 |
| 1月15日 | 日 | 9:00 | 同上応援 | 西京極陸上競技場 |
| 1月9日～24日 | | | 前進座初春公演「文七元結ぶ」ほか観劇 随意 役員:21日 | 先斗町歌舞練場 |
| 2月 8日 | 水 | | 平成28年度会計 会計監査 | |
| 2月13日 | 金 | | 児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送 | |
| 2月15日 | 水 | 18:00 | 役員会 平成28年度決算報告・平成29年度収支計画ほか | 大 柘 |
| 3月 1日 | 水 | | 「双樹学院」支援金(H29年度第1回)贈呈 | |
| 3月5日～24日 | | | 三林京子さん出演 川中美幸特別講演観劇、鑑賞 | 新歌舞伎座 |
| 3月15日 | 水 | | 役員会 総会のもちかたほか | 大 柘 |
| 3月21日 | 月 | | 伊藤会長・井上副幹事長・茂居常任幹事 竹谷事務局長松江市訪問 | 市長面会・関係機関 |
| 3月27日 | 月 | | 第12回総会・懇親会案内状発送 | |
| 4月 6日 | 木 | | 第49回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会 | 箕面ゴルフ倶楽部 |
| 4月19日 | 水 | 18:00 | 役員会 総会・懇親会 参加状況確認・資料協議 | 大 柘 |
| 4月21日 | 金 | | 第11回 近畿松江会ゴルフ大会 | 茨木国際ゴルフ倶楽部 |
| 5月17日 | 水 | 18:00 | 役員会 総会・懇親会 役割分担等確認 | 大 柘 |
| 5月28日 | 日 | 11:00 | 第12回総会・懇親会 | ニューオオサカホテル |
| 7月21日 | 水 | 18:00 | 役員会 総会・懇親会総括 | 大 柘 |
| 8月22日 | 火 | | 「双樹学院」支援金(H29年度第2回)贈呈 | |
| 9月20日 | 水 | | 八束学園大阪商人体験地産品販売応援 役員会 会報発行についてほか | 天神橋商店街3丁目 へそ |
| 10月2日 | 月 | | 会報第10号発行、発送 | |
| 10月25日 | 水 | | 第12回 近畿松江会ゴルフ大会 | 茨木国際ゴルフ倶楽部 |
| 11月 9日 | 木 | | 第50回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会 | 箕面ゴルフ倶楽部 |
| 11月12日 | 日 | 11:00 | 第55回近畿島根県人会総会・懇親会 | ホテルニューオオタニ |
| 12月初旬 | | | 平成30年度年会費納付のお願い発送 平成30年度上期行事予定報告 「双樹学院」支援金(H29年度第3回)贈呈 | |

近畿松江会この一年

平成29年6月～平成30年5月まで

☀️平成28年（7月～12月）

☆7月21日（水）7月期 三水会

・第12回総会・懇親会総括及び収支について

☆8月22日（火）

・双樹学院へ平成29年度第2回支援金を贈呈しました。

☆9月20日（水）

・9月期 三水会

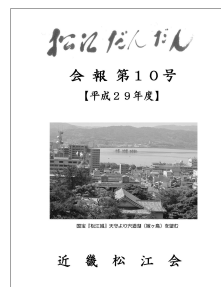
会報発行について

・松江市立八束学園（小中一貫校）8年生23名が天神橋3丁目「天三おかげ館」にて大阪商人の心得を受講し、2丁目及び3丁目、2箇所で八束（大根島）特産品（牡丹苗30鉢、はまぼうふうの漬物70個）の販売と観光PRを6名の役員が応援しました。



☆10月2日（月）

・会報第10号発行・発送



☆11月10日（木）

・第12回近畿松江会ゴルフ大会

18名参加 優勝 和田 寛さん

準優勝 松尾年浩さん

3位 神谷紀男さん



☆11月10日（木）

・第50回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会に出場しました

☆11月12日（日）

・第55回

故郷応援団～みんなで楽しむ近島根県人会
今回は「石見地区B」担当でした。

☆12月7日（木）

・双樹学院へ平成29年度第3回支援金を贈呈しました。

☆12月初旬

・平成30年度の会費納入のお願いと上期行事予定を発送しました。

☀平成30年（1月～7月）

- ☆1月13日（金） 役員有志 加茂川館
- ・全国都道府県対抗女子駅伝島根県チーム激励会に参加し、激励金を贈呈しました。



- ☆1月14日（日） 随意
- ・全国都道府県対抗女子駅伝を京都西京極陸上競技場、沿道にて応援しました。



- ☆1月11日（木）～23日（火） 随意
- ・恒例の劇団前進座初春公演で「唐茄子屋」ほかを観劇
 - 於 先斗町歌舞練場

- ☆2月5日（水）
- ・平29年度会計監査を実施しました。

- ☆2月中旬
- ・児童養護施設「双樹学院」支援金募集

- ☆2月21日（水） 2月期 三水会
- ・平成29年度決算報告
 - ・平成30年度事業計画ほか

- ☆3月1日（水）
- ・双樹学院へ平成30年度第1回支援金を贈呈しました。
 - ※沢山の支援金ありがとうございました

- ☆3月14日（水） 3月期 三水会
- ・第13回総会・懇親会開催についてHP「投稿掲示板」利用規約制定

- ☆3月23日（月）
- ・松江市訪問
（伊藤会長・井上副会長・竹谷事務局長）
松江市長様ほか面談、今年度の総会・懇親会へのご協力をお願いしました。

- ☆3月28日（水）
- ・第13回近畿松江会ゴルフ大会
17名参加 優勝 田中繁法さん
準優勝 別所祐志さん
3位 下濱敏弘さん

- ☆4月5日（木）
- ・第51回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会に出場しました。

- ☆4月18日（水） 4月期 三水会
- ・総会、懇親会式次第等検討

- ☆5月9日（第2水） 5月期 三水会
- ・総会、懇親会景品、招待者確認

- ☆5月23日（水） 5月期 総会直前三水会
- ・総会・懇親会 役割分担等確認
最終参加者確認

- ☆5月27日（日）
- 第12回総会・懇親会開催

平成29年度 近畿松江会 収支決算書

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

収入の部

単位：円

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 比較増減 | 備考 |
|-------|-----------|-----------|----------|------------------------|
| 前期繰越金 | 126,425 | 126,425 | 0 | |
| 年会費 | 435,000 | 411,000 | ▲ 24,000 | 会員161名の内納入者：137名 |
| 総会費 | 800,000 | 842,000 | 42,000 | 第12回総会・懇親会会費（参加者：101名） |
| 寄付金 | 110,000 | 125,000 | 15,000 | 運営協力金：51名 |
| 広告料 | 230,000 | 251,000 | 21,000 | 会報広告掲載料：全29件 |
| 雑収入 | 20 | 1 | ▲ 19 | 預金受取利子 |
| 合計 | 1,701,445 | 1,755,426 | 53,981 | |

支出の部

単位：円

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 比較増減 | 備考 |
|-------|-----------|-----------|----------|------------------------------|
| 総会費 | 850,000 | 802,070 | ▲ 47,930 | 第12回総会・懇親会（101名） |
| 広告費 | 43,200 | 43,200 | 0 | 年賀・暑中見舞い紙上掲載（山陰中央新報社） |
| 通信費 | 80,000 | 68,226 | ▲ 11,774 | 各種案内状・会報発送 |
| 印刷費 | 240,000 | 211,284 | ▲ 28,716 | 会報第10号（300部）・配布資料等 |
| 事務費 | 90,000 | 70,029 | ▲ 19,971 | HP接続料・封筒・宛名ラベル紙 |
| 旅費 | 50,000 | 21,920 | ▲ 28,080 | 松江市訪問交通費（－1回） |
| 雑費 | 45,000 | 23,760 | ▲ 21,240 | 松江市訪問土産代（－1回） |
| 予備費 | 35,000 | 20,416 | ▲ 14,584 | 女子駅伝祝儀・八束学園激励・（－甲子園出場） |
| 事業費 | 30,000 | 30,000 | 0 | ゴルフ同好会賛助金 |
| 払込負担金 | 18,000 | 17,470 | ▲ 530 | 会費・広告掲載料等郵便局払込手数料 |
| 次期繰越金 | 220,245 | 447,051 | 226,806 | 前年度 126,425 今年度 320,626 |
| 合計 | 1,701,445 | 1,755,426 | 53,981 | |

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

平成30年 2月 5日

監 事 木 原 貢 ㊟
 監 事 吉 岡 靖 晃 ㊟

平成30年度事業計画

| 月 日 | 曜日 | 時間 | 行事等の内容 | 場 所 |
|-----------|-----|-------|--|-----------------|
| 1月12日 | 金 | 18:00 | 全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈 役員 | 加茂川館 |
| 1月14日 | 日 | 9:00 | 同上応援 | 西京極陸上競技場 |
| 1月11日~23日 | | | 前進座初春公演「唐茄子」ほか観劇 随意 役員:20日 | 先斗町歌舞練場 |
| 2月 5日 | 水 | | 平成29年度会計 会計監査 | |
| 2月中旬 | 金 | | 児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送 | |
| 2月21日 | 水 | 18:00 | 役員会平成29年度決算報告・平成30年度収支計画ほか | 大 柁 |
| 3月 1日 | 水 | | 「双樹学院」支援金(H30年度第1回)贈呈 | |
| 3月14日 | 第2水 | | 役員会 総会のもちかた HP「投稿掲示板」利用規約制定 | 大 柁 |
| 3月23日 | 月 | | 伊藤会長・井上副会長・竹谷事務局長松江市訪問 | 市長面会・関係機関 |
| 3月28日 | 水 | | 第13回 近畿松江会ゴルフ大会 | 箕面ゴルフ倶楽部 |
| 4月初旬 | 月 | | 第13回総会・懇親会案内状発送 | |
| 4月5日 | 木 | | 第51回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会 | 箕面ゴルフ倶楽部 |
| 4月18日 | 水 | 18:00 | 役員会 総会・懇親会次第確認 | 大 柁 |
| 5月9日 | 第2水 | 18:00 | 役員会 総会・懇親会景品,招待者確認 | 大 柁 |
| 5月23日 | 水 | 18:00 | 総会直前役員会 総会・懇親会役割分担確認 | 未 定 |
| 5月27日 | 日 | 11:00 | 第13回総会・懇親会 | ニューオオサカホテル |
| 7月18日 | 水 | 18:00 | 役員会 総会・懇親会総括 | 大 柁 |
| 8月下旬 | 火 | | 「双樹学院」支援金(H30年度第2回)贈呈 | |
| 9月19日 | 水 | 13:30 | 八束学園大阪商人体験地産品販売応援 役員会 会報発行についてほか | 天神橋商店街3丁目 へそ |
| 9月下旬 | 月 | | 会報第11号発行、発送 | |
| 10月24日 | 水 | | 第14回 近畿松江会ゴルフ大会 | |
| 11月10日 | 土 | 11:00 | 第56回近畿島根県人会総会・懇親会 | ホテルニューオオタニ |
| 11月15日 | 木 | | 第52回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会 | 箕面ゴルフ倶楽部 |
| 12月初旬 | | | 平成31年度年会費納付のお願い発送 平成31年度上期行事予定報告 「双樹学院」支援金(H30年度第3回)贈呈 | |

平成30年度 近畿松江会 収支予算書

(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

収入の部

単位：円

| 科目 | 29年度決算額 | 30年度予算額 | 比較増減 | 備考 |
|-------|-----------|-----------|----------|---------------------|
| 前期繰越金 | 126,425 | 447,051 | 320,626 | |
| 年会費 | 411,000 | 405,000 | ▲ 6,000 | 135名×3,000円 |
| 総会費 | 842,000 | 800,000 | ▲ 42,000 | 総会・懇親会会費 100名×8000円 |
| 寄付金 | 125,000 | 125,000 | 0 | 運営協力金募金 |
| 広告費 | 251,000 | 200,000 | ▲ 51,000 | 会報広告 |
| 雑収入 | 1 | 10 | 9 | 預金受取利子 |
| 合計 | 1,755,426 | 1,977,061 | 221,635 | |

支出の部

単位：円

| 科目 | 29年度決算額 | 30年度予算額 | 比較増減 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|---------|--------------------|
| 総会費 | 802,070 | 850,000 | 47,930 | 100名×8,500円 |
| 広告費 | 43,200 | 43,200 | 0 | 年賀・暑中見舞広告(山陰中央新報社) |
| 通信費 | 68,226 | 80,000 | 11,774 | 総会・懇親会案内状・会報発送費ほか |
| 印刷費 | 211,284 | 220,000 | 8,716 | 会報発行(300部)・配布資料等 |
| 事務費 | 70,029 | 80,000 | 9,971 | HP接続料、封筒ほか |
| 旅費 | 21,920 | 60,000 | 38,080 | 松江市訪問旅費・宿泊費ほか |
| 雑費 | 23,760 | 50,000 | 26,240 | 松江市訪問手土産・各種懇親会費 |
| 予備費 | 20,416 | 25,000 | 4,584 | 女子駅伝・修学旅行激励 |
| 事業費 | 30,000 | 30,000 | 0 | ゴルフ同好会助成金 |
| 払込料金負担 | 17,470 | 18,000 | 530 | 会費、広告料等郵便局払込手数料 |
| 次期繰越金 | 447,051 | 520,861 | 73,810 | |
| 合計 | 1,755,426 | 1,977,061 | 221,635 | |

総会公演 & 講演

(バイオリン演奏とトーク)

朝枝信彦氏 (伝統的なヴァイオリン奏者)



(音楽監督・元マンハイム国立劇場管弦楽団コンサートマスター)

(曲目) バッハ作曲 無伴奏パルティータ No.3 ホ長調から、プレリュードほか。

■報告者 常任幹事 渡辺 悟(北田町)



“音楽の父” バッハの孤高の調べと合間の講演と一。いつもと違う形で進行した総会公演。朝枝信彦さんの伝統的奏法と、世界的バイオリニスト、フリッツ・クライスラーが愛用したバイオリン (1780年代制作) とのコラボによってホテルの宴会場はコンサートホール並みの音に満たされました。その一端を「音楽抜き」でご紹介します。



【演奏】 バッハ作曲無伴奏パルティータ第3番ホ長調『プレリュード』

先月、神戸の教会でコンサートを開きました。松江クラシックス音楽祭のアウトリーチ (訪問演奏) の一環だったのですが、神戸新聞に (告知記事が) 載ったからでしょうか、演奏後、楽屋に二人の女性が見えて、「私たち松江出身です」と……。本日も松江出身の皆さまにお会い出来き、大変うれしく、光栄に存じている次第です。

若いころ日本を離れ、家族をドイツに置いて、演奏旅行を続けています。さすらいの身としては、魂のアイデンティティーが松江にある皆さんがうらやましい限りです。

ご縁が出来たのは4年半前。軽い心筋梗塞を起こし、造影剤アレルギーでカテーテルをやらしてもらえなかった。松江に住む30年来の友達に相談したら、お灸の名人がいると。

灘町の障がい者福祉施設「白濁ハウス」の一室に通い続けました。療養は3カ月。黙っていたのですが、音楽家であることがばれ、山陰フィルハーモニーの人たちと親しくなって、コンサートをやり始めたのです。10人前後の、プライベートな場での催しでした。

美しい町松江と、そこに住む人たち。音楽に関しては単に趣味ではなく、情熱をもって、何かを開示し、啓蒙し得るものを目

指している人たちでした。それならば、私が受け継いできた伝統を伝えることが出来る——、それが始まりでした。

【演奏】『ガボット』

松江クラシックス音楽祭は今年で4回目。中学生から私くらいのベテランまでが参加しています。松江城のコンサートではビバルディの四季、モーツァルトのアイネ・クライネ・ナハト・ムジークをプロの助けなしで演奏出来ました。驚くほどのレベルアップです。

日本でよく聞くのが、ウィーンフィルは聴くけど、日本のオーケストラは聴かないわ、という言葉です。そんなとき私は言うのです。ウィーンフィルは帰ってしまうでしょ。帰ってしまえば、日本の文化になり得ないでしょと。

ドイツのマンハイムにもウィーンフィルは来ます。地元の人たちは平服で聴きに行きます。一方、自分たちのオーケストラは正装して出かけます。ウィーンフィルが格上であることは承知のうえで、地元のオーケストラを応援するのです。

松江クラシックス音楽祭は、よそから、東京から、外国から呼ぶのではなく、地元と一緒に、発見する祭です。そういう催しはおそらく松江が初めてでしょう。

今秋から街角コンサートを開きたいと考えています。市役所とか市民病院とかで、たとえば第1金曜の正午から30分、無料で演奏する。会場のどこかにワンコインくらい寄付してもらってカゴを置いてもいいでしょう。昼休みにハイドンの弦楽四重奏を聴いて職場に戻る。そんな生活が定着したら……。私の夢です。

【演奏】『ジーク』(終曲)



■会場からの質問、

「心洗われる演奏、ありがとうございました。朝枝先生の伝統的な奏法とは具体的にはどんな奏法なのでしょうか」

現代奏法は、1960年代に世界を制覇しました。機能性を重視し、リスクの少ない奏法です。何を弾いても同じ音といえます。

【演奏】『バッハ不朽の名作シャコンヌの一節』を、まず現代奏法で、次に伝統奏法で披露。

ご覧の通り、現代奏法では手がほとんど動きませんでした。ところが、伝統奏法は、曲の低音部は、オルガンの低音部、つまりペダルを足で踏んで出す低い音を発想して曲を書いたとの解釈に立って演奏するわけです。だから、指がずいぶん動きましたね。その分、失敗する確率は高くなります。

音楽家、作曲家の精神に奉仕するか、機能性を重視するか。これが伝統奏法と現代奏法の違いです。お分かりいただけましたでしょうか。

(大きな拍手)

寄稿集 “松江だんだん”

会報のニックネーム「松江だんだん」にちなみ、「松江に“だんだん”する」ページをつくりました。

わが町・わが村・を「語る」内容でも、「思い出」でも、「思い」でもすべて可とし、今年も下記の方々に、謂わば町内代表としてご寄稿をいただきました。

皆で語り継ぐ企画ですから、町内リレー大会のように、次号はあなたにバトンがいくかもしれませぬ。その節はよろしくタノマスケンネ。

(掲載は、町のアイウエオ順)

■石橋町

「石橋町の思い出」

吹田市 田中裕子

私は、石橋町で生まれ
て高校卒業まで過ごし
ました。みどり幼稚園、北
堀小(現在は城北小学校)、
一中といずれも家から近
く、昔は学校の先生が、



それも沢山の先生が町内の借家にお住まいで、先生の宿直があると先生の着替えとお弁当を持って行くお手伝いがありました。

学校では「先生」と言い、家では「おじさん」と言っていましたので、中学生の時に学校で各クラスが色々な授業風景を先生の研修に使われると、私のクラスは音楽でしたが、出席番号順に二人ずつ着席すると、私の旧姓は矢野でアイウエオ順では後の方でしたので隣が空席になり、そこへ次々に先生方が着席されてとても緊張しました。

そんな中でも聞き覚えのある声で 近所のおじさんが「裕ちゃん」と声かけてくださり、授業が終わると、音楽の先生から授業中のおしゃべりを注意されて「町内のおじさんです。」と言ったら、なんと後から他校の先生だったことが分かったという少し恥ずかしい思い出もあります。

石橋町には、大きな井戸が一丁目、二丁目、三丁目とそれぞれにあり、おいしいお水を使った日

本酒の酒蔵が二丁目に「都の花」、三丁目に「李白」があり、二丁目の酒蔵はなくなりました。

お豆腐屋は、年配の方から三軒あったと聞きましたが、私の記憶では一丁目に二軒ありましたが今では久木豆腐店のみとなりました。他には出雲蕎麦の「きがる」、お漬物の「井上商店」、お醤油の「森山醤油店」がありまして町内には木桶や木樽を作る家もありました。

おいしいお水を利用して、色々な食品が出来上がるには、材料を昔は三丁目の児守稲荷神社の裏や原田酒造(都の花)の裏から久木豆腐店へ右に曲がって続く水路を船で運んでいたそうです。これは、きがる蕎麦の駐車場工事時、「船停まり」が出て来たそうです。船は奥谷町でUターンしてまた石橋町へ水路を通っていたそうですが、私が子供の頃の水路はドブ川でした。

今では、町内の風景も千手院下の大火災により大きく変わりましたが、松江に帰る時は、いつも兄夫婦宅にお世話になり 高校の恩師宅でもある千手院へ遊びに行くのに、森山醤油店の「もろみ」の臭いが、「ああ、松江に帰った」と実感します。

千手院の高台から見る松江城は、とても好きな



景色ですが、子供の頃は私の年代から子供の人数が減り始め、家の中で妹と遊び、外遊びで千手院の桜のお花見や夏は地藏盆、クリスマスツリーのモミの木枝切や雪の季節は緩やかな坂でソリ滑り、春休みには雛菓子の「花もち」作りに椿の葉をいただきに行きました。はっきりと見えた松江城も残念ながらビルが多くなりました。

新しいニュースでは、森山醤油店の右側道向いの綿貫家が東茶町の國暉酒造と共に松江市の文化財に指定されました。



小、中学校校区に慣れ親しんでいた松江城が、平成27年、国宝に指定された時に、ご縁がありまして近畿松江会に入会後、「松江観光大使」を引き受けましたが、近畿地方に松江出身の方が 沢山活躍されていますので、誇りに思いますし、総会等参加する度にお知り合いの方も増えて楽しく、松江の事で知らない事も多いので 日々勉強しなくてはと思います。

■宍道町

「思い出すまま 二題」

篠山市 木幡晃正

1. 「宍道湖の呼称と湖」について

出雲国風土記によれば、大国主命が猪狩りで猪を追い込んだ時、何故か、天の意思か、その猪が石像化したとのこと。この猪の通った道（ししじ）が転じて、宍道（しんじ）となったとのこと。



因みに、江戸時代にこの「宍道」の地名が、「宍道湖」湖名の由来になったとのこと。宍道湖は、周囲約45km、日本で第7番目の大湖です。農地確保や空港用地確保のための干拓前は、約50kmでした。

1/10の汽水湖で、魚種は「ゴビウス館」見学で分かるとおり大変豊富です。「宍道湖七珍」は7つの珍味で、スズキ、モロゲエビ、ウナギ、アマサギ、シラウオ、コイ、シジミです。頭文字を取り、スモウアシコシ（相撲足腰）と覚えます！

私の松高・北高時代は、宍道湖一周マラソンが

毎年ありました（陸上部員はその間、県営グラウンドで、ひたすら練習でしたが）。質実剛健、文武両道の伝統ある校風は、今も北高生へしっかりと継承されています。

2. 「宍道の地と思い出」について

宍道は松江市と出雲市の間にあり、又、山陰線と奥出雲・広島への木次線が交差する地点。さらに、北に大湖「宍道湖」を控えた陸・うみ・山の路の要衝の地です。子供の頃、「宍道丸」等の大型船も浮かび稼働していました。

約450年前、本家「木幡家」は、京都宇治木幡の地からの転地に当たり、尼子氏を頼り、出雲に至り、深い考察のうへ、宍道の地を選ばれ定着されたものと、私は推察致します。陸路と水路の要地、人・物・財・情報の交差点です。すなわち、戦略的な適地でありました。

そのため、後に、宍道は宿場町として栄えました。江戸時代には松江藩主が領内視察や出雲大社参詣の途中に休憩される場所であった本陣宿として重用されました。現在、唯一「八雲本陣」が国の重要文化財として長く維持保存されております。その労苦は大変なものです。



私は、宍道駅前の家で生まれ、宍道小・島根大学附属中学・松江北高卒業まで出雲の地で育てて頂きました。NTT就職後、23歳での私の結婚式は、「八雲本陣」で、母方の繋がり の境港「米助」呉服店の足立ご夫婦が仲人で執り行われました。仲人の木幡久右衛門吹月翁とは、「やあ！・お！」の仲の友人でした。奥様は上品な色白の美人でした。

あの屋敷の大広間で、松江名誉市民の吹月翁から、顔よりも大きな朱塗りの大杯で、「ミツマサ、ほらグツと飲め！」となみなみと祝い酒をついで頂き飲み干しました。あの豪快で温かい笑顔・人

柄は本当に懐かしい思い出です。

今年の5月1日に、3人の子供達が「金婚式」のうれしいお祝いをしてくれました。あれから50年の時が流れたのですね。まさに「光陰矢の如し」を実感しました。

松江から30分、宍道へ行かれるなら、八雲本陣と木幡山荘、菟古(シュウ)館はセットですね。本陣から車で5分と近く、吹月翁の歴史と自然への温かな美意識が味わえます！(月曜休みです)

ここで、ペンを休め、皆様のご健勝をお祈り致します。だんだん！

■玉湯町

「玉造温泉街の思い出」

茨木市 永瀬丈嗣

私の出身は、玉湯町(旧八束郡)の玉造、JR松江駅から見ればちょうど玉造温泉行きバスの終点の近くなります。玉湯幼稚園・玉湯小学校・玉湯中学校・松江南高校と、毎日のように玉造温泉街の端から端まで横断しながら通学し、育ってきました。

「あなたの郷里の思い出は何ですか？」と問われれば「玉造温泉街の変化」であります。私の頭のなかにある温泉街の変化を、思いつくまま書きたいと思います。

玉造温泉街の中心には、大きな川ではないですが、「玉湯川」が流れております。「玉湯川」と言えば「玉湯川桜並木」でしょうか。玉湯川の桜並木は全国的にも有名なようで、桜開花状況のWebサイト・島根県版を見ると、「松江城山公園の桜」と並んで掲載されております。

ただ、私は、玉湯川でひたすら魚を取って川遊びをしていた身なので、桜並木よりも、コンクリート護岸が最初に頭が浮かびます。護岸のどのあたりに魚が住んでいて、どのあたりに網を入れれば魚が取れるかといったことが、小学校時代の大切な秘密であり、今でも覚えております。

私が高校を卒業するまでは、コンクリートで固

められた川であったのですが、今では自然環境を活かした河岸・散歩道が整備され、素晴らしいものになりました。写真は、私が大阪の大学で博士過程に在籍していた時に撮影したのですが、その変化がとても嬉しかったことを覚えています。



温泉街・護岸工事されたあとの玉湯川の様子

2002年5月撮影

ただ、コンクリート護岸の時代には川辺を歩く観光客の方はおらず、魚取りをしても誰にも怒られなかったのですが、今では皆の散歩・憩いの場になってしまったので、自分の子供には玉湯川で魚取りをさせてあげることが出来ないと考えております。それでも、とても素晴らしい変化であると思っています。

玉湯川を挟んだ道路は、真っ黒なコンクリートではなく、ブロック舗装になり、温泉街を楽しみながら散策できるように変貌しました。温泉街のお土産屋さんも、最近の若い人向けのお洒落なお店になってきました。

最近では、温泉街のはずれにある「玉作湯神社」も観光地として有名になって、なかでも私が子供のころは何げなく神社に置いてあった石が、「願い石・叶い石」として進化をとげ人気の観光スポットになっていると聞き、びっくりしている限りです。

帰省するたびに、どんどん整備され、良い方向で変化しつつある玉造温泉の姿に驚かされるばかりです。

身内びいきのようですが、玉造温泉はいまや近畿の代表的な温泉街、例えば「有馬温泉」・「城崎温泉」などにも負けない存在になっているのではないのでしょうか。Google検索で「たまなび」と打ち込めば、玉造温泉の最新の情報が得られます。

玉造温泉出身の私としては、近畿におられる皆様にむけてのお願い、すなわち、「ぜひ玉造温泉に

宿泊・遊びにきてください」の言葉で締めくくりたいと思います。

追記：大阪北部地震、平成30年7月豪雨で被災された方も多くおられると思います。さらに「災害級」とも言われる猛暑の年となっており、ご心労が絶えないことと存じます。

私も茨木に住んでいて地震の被害にあいました。今でも子供の通学路にはブルーシートが屋根にかかっている家やヒビの入ったブロック塀があり、いまだにその爪痕が残っていることを実感しております。

被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早く普通の生活に戻れることをお祈りしております。

■天神町

「天神町と天満宮への思い」

西宮市 長谷川浩之
(白潟天満宮権禰宜／公認会計士)

「うちは松江の中心だ」、ずっとこう思っていた。私の少年時代である約40年前なら、頷いてくれる人も多かったのではないだろうか。何しろ、家の周りに松江じゅうから人が集まってくる。

私は、白潟天満宮の明治以来の宮司家に生まれ、「天神さんの子」として過ごしてきた。

小学生のころまでは、天神町はにぎやかだった。Amazonのようにあらゆる買い物ができ、服・本・レコードなど流行の発信地でもあった。映画館で映画を楽しむ大人もまだ多かったし、私たち子供はおもちゃ屋や駄菓子屋に集まり、天満宮境内の巨大な松の根っこをベースに、日が暮れるまでゴロ野球をした。たこ焼き屋のおばちゃんに時刻を聞くと決まって「去年の今ごろ」ととぼけた返答が帰ってきたのが懐かしい。

私は、歩行者天国で好きなものを買ってもらえる土曜夜市が一番大好きだった。「今日はやるよ」



と打ちあがる予告の花火が本当にうれしかった。もちろん皆さんご存知の夏祭りには隙間もないほどにたくさんの露店が出て、昼は友達とスーパーボールやヨーヨー釣りもしたが、何と云っても楽しかったのは「型ぬき」だ。晩には拝殿にたくさん友達を呼んで神楽を見るのが大好きだった。子供だったからかもしれないが、住んでいて楽しい町だった。

ところで、今、県立美術館に入って左奥に「強く正しく」の巨石があるが、ご存じない方も多いただろう。かつてそこにあり、私が通っていた白潟小学校の校訓の碑だ。毎日、廊下から一面に、四季折々違う宍道湖と嫁ヶ島が見渡せ、水面の向こうからは松江城も温かく見守っていると思える素晴らしい校舎だった。

そんな校舎での6年間を与えてくれた松江市には感謝しており、その校舎が取り壊され美術館として地域の財産になっていることはうれしいが、卒業生としては一抹の寂しさをぬぐえない。

さて、一気に時代は遡るが、松江開府以前から白潟の町はあり16世紀の明の文献にも出てくる。

堀尾吉晴公は新しい城下町の都市計画において白潟の地を商業経済の中心として整備するに当たり、その地を俯瞰したところ、鬼門に当たる売布神社の対角線の裏鬼門を守るものが必要だと考え、月山富田城内におまつりされていた天満宮をそこに奉遷された。



それが白潟天満宮であり、その後も代々藩主により崇敬を受け、また廃藩後は松江市民を始め多くの崇敬者によって維持されている。つまり白潟天満宮はそもそも城下町松江の守り神であり、だからこそ市民を挙げて支えてきた神社である。

松江はお城周辺など観光客受けする風景の保全には熱心だが庶民の風景にはスポットは当たらない。行政、経済、交通、長い間にいろんな力を受

けて小学校も病院もデパートも消えた。

小さいころに親しんだ白潟の風景はこの40年で大きく変わった。もちろん、今も夏祭りは変わらず賑わっているし、天神町にはまだ多少は商店もあるが、40年前とはちがいが、松江の真ん中でもなく、普段は楽しい町でもない。人も集まらず経済力もない。



しかし、天満宮は変えてはいけない。近畿に出

られた松江の皆さんにもそう思っただけののではないだろうか。堀尾公の据えられた街の守り神である白潟天満宮は、氏子が存在せず、みんなで守らなければならない。

40年ほど前の昭和52年の御遷宮で修理しなかった部分の損傷が、参拝者の安全にかかわるほどに激しくなってきた。2020年に向けて再び御遷宮・社殿修理を計画している。「天神さんの子」、いや天満宮権禰宜として、近畿松江会の皆様からのご支援をぜひお願いしたい。

⇒ <http://shirakatatenmangu.com/sengu/>

■和多見町

「私の大好きな和多見町」

大阪市西区 古浦信弘
(山陰合同銀行大阪支店)

私は松江市和多見町で生まれ、3年前に実家の隣に新居を構え、和多見町に住み続けています。現在は仕事の関係で大阪にて単身赴任の身ですが、月に1回~2回は和多見町に帰り、家族と楽しい休日を過ごしています。



私が通勤族であり、和多見町以外（鳥取県境港市、兵庫県尼崎市、松江市上東川津町）にも住んでいましたが、結局安住の地として選んだのは和多見町でした。

なぜ、和多見町なのか。やはり、生まれ育っ

た町に帰りたいという気持ちと、和多見町に住む方々との関わりが大好きであり、必然的に和多見町に戻りました。

家を新築した際も町内のみなさんに、「よく帰ってきたね」、「良いことをしたね」と歓迎され、妻や子供たちも優しく接してもらい、「近所付き合い」という言葉がまだまだ残っている町であると実感しています。

町内、地区行事（和多見町チームとして参加）も沢山あります。地区運動会 グランドゴルフ大会、月1回の町内清掃、新年会等の各種飲み会等々、中でも最大の行事は和多見町として3年に1度参加している鑿（ドリ）行列です。お世辞にも和多見町の鑿は上手とは言えないものではありませんが、和気藹々の雰囲気の中で、皆が楽しそうに叩いています。和多見町は鑿の基本である「しゃぎり」という叩き方しかできません。その他に「早打ち」、「ミタミタ」という叩き方もありますが、昔から「しゃぎり」のみのスタイルを貫いているのも味があると思っています。個人的にはリズム良く、上手に叩いているつもりですが・・・第三者の意見は気になるところです。

大好きな和多見町も徐々に変わりつつあります。



大橋川拡幅に伴う立ち退きが始まったからです。和多見町の北側、北西側が対象で、松江中央水産物卸売市場も対象となるようで、数十件の家屋が今後壊されるようです。街づくり、災害対策の一環であり、理解はしていますが、慣れ親しんだ町並み、住人がいなくなるのは寂しい限りです。

ただし、残った住人の生活は続くわけで、もっともっと和多見町を盛り上げていかなければなりません。和多見町のシンボリックな存在である「賣布（メ）神社」、ワッフルの美味しい「ウエダ洋菓子店」、何よりわが家は残ります。どのような町並

みに変わろうが、古き良き和多見文化を受け継いで行けたらと思っています。

最後に、みなさんも松江に帰省の際は、和多見町に立ち寄って見てください。また、鑿行列で和多見町が参加する時は見に来て下さい。練習は本番2週間前くらいから、大橋川沿いで(19時開始)行います。是非、鑿を叩きに来て下さい。

寄集 “方言だんだんを考える”

枚方市 佐和田 丸

出雲方言だんだんは、出雲地方出身者にとってなじみ深い言葉です。

ルーツはどうか、すこし気になって、後学のため字引をひいてみました。



それによると、もともとは京都の花街で使われていた言葉でしたが、ある時、遊里から遊離して、広く西日本各地に広がり一般家庭で使用されるようになった。そして、今なお使われているところもあるし、使われなくなったところもある。また、違う意味に転用されるようになったところもある、とありました。

私が把握している今なお使用されている地域は、出雲、愛媛県伊予、米子(だんだんバスがあるとのこと)、熊本県人吉地方、宮崎県椎葉村(産物にだんだん納豆がある)、鹿児島県、福岡県などですが、その他にもしぶとく残り、使われているところがあるような気がいたします。新潟県十日町市では、市報の題名に「だんだん」が使われているとのこと、当会の会報と同名で微苦笑を禁じ得ない。それだけ良い名前でも場所が変わってもみんな同じことを考えるということでしょう。中でも最も良く使用されているところが出雲地方といえるでしょう。

出雲に準ずるのが伊予地方ではないかと思いません。理由は、いつでしたか愛媛県で何かの全国大会が開催された際、当時の県知事が、皆さん、全国各地から集まってくださって、だんだん、だんだん。皆さんは、だんだんという出雲方言と理

解しておられるかもしれませんが、同時に伊予方言でもあるのです。地元へお帰りになりましたら、ぜひこのことを吹聴してくださいませよう願っています。と、挨拶されたことがあったと聞いております。

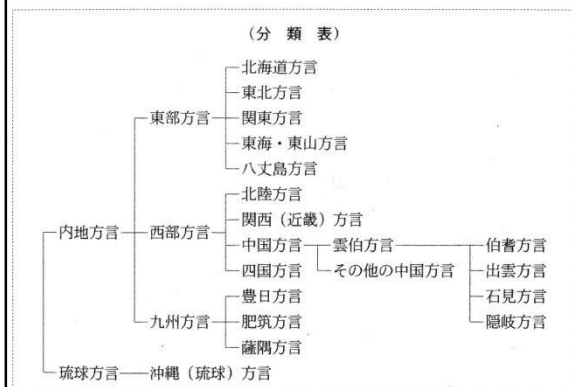
また、私宛、愛媛県の物産業者から、だんだん便と名付けてカタログを送ってきたこともありました。それには、だんだんとは、伊予方言でありがとうという意味ですと付記されていました。

(本稿は、島根県遣島使 メーリングリストに投稿したものに、若干加筆補正したものです。)

方言の分類と“しま弁”コーナー

しま出身 竹谷 奨

佐和田さんから貴重な投稿をいただきましたので、全国の方言の分類を調べてみました。しま弁は概ね北部出雲方言の短音型に属しているが、地理的に見て夜見が浜(弓が浜)に近接しており、古くからその方面との往来があったためか、伯耆方言の影響が深く、ことばの抑揚の極似している点も多い。一言でいえば、その特異な地域性と歴史性に培われて独特な発達経路を辿ったものと思われる。



下表を含め八束町誌より引用

しま弁をひとつ

- ・わーがこめときからすいちょったけん
- おらとえっしょねなっごしえやい
- ・えで

(めでたしめでたし)

平成30年度 役員名簿 新役員

| | |
|----------------|-------------------------|
| 顧問 | 荻田運三郎 (雑賀町・雑賀小学校) |
| 会長 | 伊藤 征治 (北堀町・北堀小学校) |
| 副会長 | 小川 龍朗 (島根町・加賀小学校) |
| 副会長 | 井上 隆吉 (上東川津町・川津小学校) |
| 幹事長兼事務局長 | 竹谷 獎 (八束町・八束小学校) |
| 副幹事長 | 井上 芳子 (石橋町・北堀小学校) |
| 副事務局長 (兼ゴルフ担当) | 内部 茂 (東朝日町・中央小学校) |
| 常任幹事 (地域担当) | 押田 良樹 (大庭町・雑賀小学校) |
| 常任幹事 (地域担当) | 木村 恵吉 (雑賀町・雑賀小学校) |
| 常任幹事 (地域担当) | 武田 貞雄 (雑賀町・雑賀小学校) |
| 常任幹事 (広報担当) | 松本 耕司 (上本庄町・本庄小学校) |
| 常任幹事 (地域担当) | 渡辺 悟 (北田町・付属小学校) |
| 常任幹事 (地域担当) | 木幡 晃正 (宍道町・宍道小学校) |
| 常任幹事 (地域担当) | 田中 裕子 (石橋町・北堀小学校) |
| 常任幹事 (HP担当) | 鶴羽 孝子 (西持田町・持田小学校) |
| 常任幹事 (広報担当) | 茂居理智子 (竪 町・雑賀小学校) |
| 監事 | 木原 貢 (宍道町・宍道小学校) |
| 監事 | 吉川 栄司 (広瀬町・山陰合同銀行大阪支店長) |

以上18名

会 員 名 簿 (中・小学校区別)

平成30年9月現在

- ①”ふるさと”に密着した「会員名簿」とするため、中・小学校区(通学区域)と、皆様から
 申告いただいている「出身町」をあてはめて作成しました。
 ②不具合い、間違いがあります場合は、事務局までご一報いただければ幸いです。
 ⇒(注)島根大学付属小(中)学校は、この表には記載していません。

| 校区／出身町 | 通学区域・町名／会員氏名 |
|---------------|--|
| 【一中校区】 | |
| 生馬小 | (上佐陀町一部、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町一部) |
| 内中原小 | (殿町一部、西茶町、東茶町、苧町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、堂形町、砂子町、国屋町、黒田町一部、浜佐田町一部、千鳥町、南平台) |
| 城北小 | (北堀町、奥谷町、東奥谷町、石橋町、大輪町、湍北台、法吉町一部、春日町一部、黒田町一部、菅田町一部) |
| 法吉小 | (比津町、比津が丘、法吉町一部、西法吉町、春日町一部、黒田町一部) |
| <石橋町> | 井上 芳子(高槻市) 清水 良子(茨木市) 田村 稔久(豊中市) 永井 ひろし(京都市) 田中 裕子(吹田市) 山崎 麻里子(大東市) |
| <内中原町> | 池田 喜美代(門真市) 小泉 勝是(長岡京市) |
| <奥谷町> | 大堀 裕子(東大阪市) 野津 一雄(尼崎市) |
| <片原町> | 乾 チカコ(大阪市) |
| <北殿町> | 土田 和男(大阪市) 村上 勝美(三島郡島本町) |
| <北堀町> | 伊藤 征治(奈良市) 山口 茂(京都市) 和田 邦孝(神戸市) 泉 紳一郎(吹田市) |
| <黒田町> | 山口 紀子(神戸市) 野津 ゆう子(奈良市) |
| <湍北台> | |
| <殿町> | 飯塚 満男(茨木市) |
| <堂形町> | 小田 一美(奈良市) |
| <中原町> | 佐々木 悦子(吹田市) 宍道 弘志(吹田市) 田中 正治(宝塚市) |
| <外中原町> | 森脇 泰雄(大阪市) |
| <東生馬町> | 青戸 俊夫(神戸市) 藤原 敬(松江市) |
| <比津町> | 小数賀 健二(河内長野市) |
| <法吉町> | 景山 克雄(八尾市) |
| 【二中校区】 | |
| 朝酌小 | (西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町) |
| 川津小 | (菅田町一部、西川津町一部、上東川津町、下東川津町) |
| 母衣小 | (末次本町、東本町、殿町一部、母衣町、北田町、南田町、米子町、向島町、西川津町一部、学園南、学園) |
| 持田小 | (福原町、坂本町、川原町、東持田町、西持田町、上本庄町一部) |
| <上東川津町> | 井上 隆吉(高槻市) 井上 伸久(高槻市) |
| <西川津町> | 今井 憲子(大阪市) |
| <北田町> | 渡辺 悟(吹田市) 大浦 綾子(西宮市) |
| <末次本町> | 山田 稔(富田林市) 三成 宏二(木津川市) |
| <西尾町> | 篠木 豊(大阪市) |
| <西持田町> | 鶴羽 孝子(尼崎市) |
| <東本町> | 木村 八重子(八尾市) 永江 幹雄(神戸市) |
| <母衣町> | 川角 十四枝(高槻市) 大野 賢造(川西市) 篠田いづみ(豊中市) |
| <南田町> | 山崎 昶(西宮市) 松本幸子(大阪市) 野津 博道(豊中市) |
| <米子町> | 永瀬光一郎(芦屋市) |

| 校区／出身町 | 通学区域・町名／会員氏名 |
|--|--|
| 【三中校区】 雑賀小 (栄町、新町、松尾町、雑賀町、堅町、本郷町、西津田一部、上乃木一部) 中央小 (天神町、白潟本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、横浜町、幸町、袖師町、嫁島町、伊勢宮町、御手船場町、大正町、新雑賀町、東朝日町、朝日町、津田町、西津田一部、西川津町一部) ○平成7年4月1日 白潟小学校 + 朝日小学校 ⇒ 中央小学校 | |
| <朝日町> <伊勢宮町> <雑賀町> <白潟本町> <新町> <栄町> <新雑賀町> <大正町> <堅町> <天神町> <寺町> <灘町> <東朝日町> <本郷町> <横浜町> <和多見町> | 岡 茂(大阪府豊能郡) 竹谷 曜子(大阪市) 奥村 伸子(豊中市) 荻田 運三郎(明石市) 木村 恵吉(吹田市) 篠崎 一浩(神戸市) 澄川 光成(河内長野市) 福間 則博(宝塚市) 江角 要一(大阪市) 武田 貞雄(堺市) 尾原 謙治(奈良市) 中村 博行(名張市) 有田 鋼司(大阪市) 永井 彰(大津市) 仁宮 龍聖(高石市) 赤井 真一郎(大阪市) 望月 修一(豊中市) 茂居理智子(大阪市) 竹内喜次男(高槻市) 佐藤早智子(茨木市) 長谷川 浩之(西宮市) 鏑木 孝子(京都市) 長谷川 忠雄(奈良県北葛城郡) 内部 茂(茨木市) 菊池 尅雉(神戸市) 村尾 俊治(枚方市) 岡本 由美(伊丹市) 安島幸雄(吹田市) |
| 【四中校区】 古志原小 (古志原一部、八雲台、上乃木一部、一の谷町) 津田小 (東津田町、古志原一部、西津田一部) | |
| 【湖南中校区】 ○昭和50年4月1日 新設 忌部小 (西忌部町、東忌部町、玉湯町一部) 乃木小 (上乃木一部、浜乃木町、浜乃木、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島) | |
| <上乃木> <古志原町> <西津田> <浜乃木> <乃木福富町> <東津田町> | 神谷 紀男(堺市) 田中 英明(交野市) 坂本 隆男(大津市) 曾田 良子(奈良市) 三代 知範(神戸市) 平山 恭子(大阪市) 井々乃かな(高槻市) 藤坂 優子(泉大津市) 小瀧 翔平(伊丹市) 太田 明宏(福山市) |
| 【湖東中校区】 ○平成5年4月1日 新設 大庭小 (大庭町、山代町、古志原一部、佐草町、大草町、矢田町一部) 竹矢小 (矢田町一部、青葉台、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町) | |
| <大草町> <大庭町> <馬潟町> <山代町> <八幡町> | 足立秀之(茨木市) 押田 良樹(吹田市) 松尾 年浩(高槻市) 大野 徹(奈良市) |

| 校区／出身町 | 通学区域・町名／会員氏名 |
|----------------|--|
| 【鹿島中校区】 | |
| 鹿島東小 | 鹿島町(御津、上講武、南講武、北講武、名分一部) |
| 惠曇小 | 鹿島町(惠曇、手結、片匂、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部) |
| 佐太小 | 鹿島町(佐陀宮内一部、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部、名分一部) |
| <鹿島町> | 坂井 茂子(亀岡市) 山本 雅昭(大阪市) 小松 砂知子(東大阪市) 内藤 みよ子(明石市) |
| 【湖北中校区】 | ○平成6年4月1日 古江中学校 + 秋鹿中学校 + 大野中学校 ⇒ 湖北中学校 |
| 秋鹿小 | (秋鹿町、岡本町、大垣町) |
| | ○平成22年4月1日 中島小学校 + 秋鹿小学校 ⇒ 秋鹿小学校 |
| 大野小 | (大野町、上大野町、魚瀬町) |
| 長江小 | (東長江町、西長江町) |
| 古江小 | (古曾志町、西谷町、古志町、荘成町、西浜佐陀町、上佐陀町一部) |
| | ○平成23年4月1日 長江小学校 + 古江小学校 ⇒ 古江小学校 |
| <秋鹿町> | |
| <岡本町> | 折坂栄久(河内長野市) 堀川 光子(大阪市) |
| <東長江町> | 和田 寛(河内長野市) |
| 【島根中校区】 | ○平成16年4月1日 島根中学校 + 野波中学校 ⇒ 島根中学校 |
| 島根小 | (島根町) |
| | ○平成17年4月1日 大芦小学校+加賀小学校+野波小学校 ⇒ 島根小学校 |
| <島根町> | 小川 龍朗(京都市) 客野 伸(神戸市) 藤城 坦(神戸市) 余村 隆志(吹田市) |
| 【宍道中校区】 | |
| 大谷小 | 宍道町(上来待和名佐地区) |
| 来待小 | 宍道町(東来待、西来待、上来待) |
| 宍道小 | 宍道町(宍道、伊志見、白石、佐々布、昭和) |
| <宍道町> | 池尻 和子(東大阪市) 伊藤 雅義(京都市) 小田 兼久(豊中市) 川島 俊雄(川西市) 木原 貢(豊中市) 小高 久始(堺市) 木幡 晃正(篠山市) 梶月 禎暉(宝塚市) 武田 精(八尾市) 田中 晨子(枚方市) 土江 安雄(堺市) 飛田 藤夫(大阪市) 光田 仁一(奈良市) 和田 亮介(松江市) 阪本浩吉(枚方市) |
| 【玉湯中校区】 | |
| 大谷小 | 玉湯町(大谷一部) |
| 玉湯小 | 玉湯町(布志名、湯町、林、玉造一部、大谷一部) |
| <玉湯町> | 長谷川 紀美子(奈良県北葛城郡) 中曾 暁尚(豊能町) 別所 裕志(高石市) 永瀬 丈嗣(茨木市) |
| 【本庄中校区】 | |
| 本庄小 | (手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町、本庄町、上本庄町一部) |
| <上宇部尾町> | 内田 美二(伊丹市) |
| <上本庄町> | 松本 育郎(堺市) 松本 耕司(枚方市) 松本芳樹(豊中市) |
| <新庄町> | 寺前 澄子(高槻市) 木村 修芳(枚方市) |
| <手角町> | 北林 栄(堺市) |
| <本庄町> | 面白 紘(橿原市) 山内 和美(吹田市) 三代 雅樹(加古川市) 田部 拓生(奈良市) |
| <枕木町> | 木島 光子(津市) |

| 校区／出身町 | 通学区域・町名／会員氏名 |
|---|--|
| 【美保関中校区】 美保関小 (美保関町) | ○平成7年4月1日 美保関北中学校 + 美保関南中学校 ⇒ 美保関中学校 ○平成13年4月1日 美保関小学校+森山小学校+福浦小学校⇒美保関東小学校 ○平成13年4月1日 七類小学校+片江小学校⇒美保関北小学校 ○平成18年4月1日 美保関東小学校+千酌小学校+美保関北小学校⇒美保関小学校 |
| <美保関町> | 愛田 幾也(神戸市) 梅木 隆志(大阪市) |
| 【八雲中校区】 八雲小 (八雲町) | |
| <八雲町> | 石倉 文行(豊中市) 藤田 宏(堺市) |
| 【八東学園校区】 八東学園 (八東町) | ○平成23年1月1日 小中一貫教育校として発足 |
| <八東町> | 岩田 太(神戸市) 門脇 基(茨木市) 門脇 幸夫(大阪市) 川原 ひろ子(豊中市) 河野 宗子(草津市) 高瀬 保子(豊能町) 高橋 小梅(東大阪市) 竹谷 奨(大阪市) 坪山 孝美(宝塚市) 福屋 篤子(豊中市) 松本 悟(大東市) 門脇 充人(大阪市) |
| 【東出雲中校区】 出雲郷小 (出雲郷地区) 揖屋小 (揖屋地区) 意東小 (意東地区) | ○平成23年8月1日 八東郡から松江市に合併 |
| <東出雲町> | 萩野 貫悟(吹田市) |

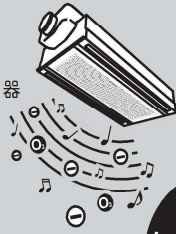
| ■【松江市外出身の会員】 | |
|--------------|------------------------------------|
| <安来市> | 荒銀 昌治(西宮市) 石田 裕子(大阪市) 浦 晴子(吹田市) |
| <出雲市> | 竹内 一郎(大阪市) 鳥屋尾 勇(大阪市) |
| <広瀬町> | 森藤 哲章(橿原市) 吉川 栄司(大阪市) 山陰合同銀行大阪支店長) |
| <隠岐郡海士町> | 田黒 公司(吹田市) |
| <飯南市> | 佐和田 丸(枚方市) |
| <温泉津町> | 林 邦幸(京都市) |
| <浜田市> | 北島 幸子(豊中市) |
| <京都市> | 小川 ますみ(京都市) |

| ■【名誉会員】 | |
|---------|------------|
| <大阪市> | 三林 京子(大阪市) |

木村工機が目指す
近未来空調。
このころの豊かさを大切に
するこれからの時代
やさしさと活力にあふれる
環境づくりに「空気質」で
貢献します。

全空気式放射整流ユニット
環境エアビーム
風を感じないやさしい空調

LED照明
音響スピーカー
イオン・オゾン発生器

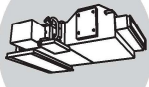


知的生産性
向上

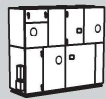
空冷直膨式／冷温水式
工場用ゾーン空調機
ものづくりを支えるあなたの職場へ



労働生産性
向上



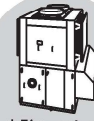
高性能ファンコイル



熱回収外調機



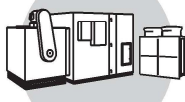
オールフレッシュ
外調機



立形ルーフトップ
外調機&空調機



高性能エアハン



直膨エアハン



ソインサイクル形
外調機



産業空調用
低温外調機

導入事例 | 北から南まで

地域や季節により変化する日本の気候。木村工機は豊富な製品群でお客様のニーズにお応えします。



病院



ホテル



銀行



大学図書館



給食センター



工場



大学



オフィス



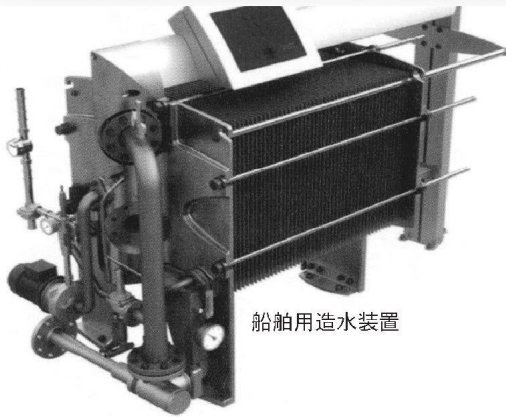
木村工機株式会社
www.kimukoh.co.jp

本社 〒540-0005 大阪市中央区上町A番23号 TEL(050)3733-9400(代)
 東京営業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目2番1号(新大手町ビル) TEL(050)3784-2633(代)
 大阪営業本部 〒542-0062 大阪市中央区上本町西5丁目3番5号(上六Fビル) TEL(050)3733-9401(代)
 名古屋営業本部 〒450-6427 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号(名古屋ビルディング) TEL(050)3784-2630(代)
 仙台支店・福岡支店・札幌営業所・金沢営業所・広島営業所・空調設備事業部

《鉄道車両、船舶、産業機器、ソリューション》



イメージ画像



船舶用造水装置



LEDリモコン
サーチライト



鉄道車輛運転台

株式会社
トヨーコーポレーション
TOYO & ENGINEERING CORP.

取締役社長 山本 雅昭
本社/〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-21-35 Tel. 06-6443-2061 Fax. 06-6443-9736
東京支店・豊中工場

©Gestaltung K.Raum

hg. 株式会社はーとケアグループ

代表取締役 下田 弘子
(京都島根県人会 副会長兼事務局長)

訪問介護事業所 あったかハート伏見東
民間療法 シンパジーステーション

〒601-1336 京都市伏見区醍醐柏森町 8-10
TEL:075-571-3725 FAX:075-571-3735

株式会社川商
LIBERTY リバティーいちご

LIBERTY

管理者 若松 ひろ子

〒542-0081
大阪市中央区南船場3丁目1-7
日宝東心斎橋ビル6階1号
TEL: 06-6281-3722
FAX: 06-6281-3723

ユニフォームはレンタルの時代へ

HANSHIN 阪神ユニフォーム販売 豊

各地被災からの復旧・復興活動を応援します

〒540-0021 大阪市中央区大手通2-3-17
TEL 06-6943-6990
FAX 06-6943-6980

<http://www.hanshin-uniform.jp>



松江観光大使

近畿松江会 常任幹事

松本 耕司

近畿双松会 会長 (松江高・松江北高同窓会)

〒573-0049 大阪府枚方市山之北町20-34
Tel 090-6609-8817
k-matsumoto@hi-ho.ne.jp

松江観光公式サイト

水の都松江

検索

2019年1月 前進座初春特別公演

山田洋次 監修・脚本

初笑い!!

大笑い!!

うらながやそうどうき
裏長屋騒動記

1月4日(金) ~ 14日(月祝)

前進座京都事務所 ☎075-561-6300

京都劇場

島根大根島 だいこんじま
天ぷらに、茶碗むし、刺身のつま、お吸い物に。
JAしまね はまぼうふう生産組合

大阪市天王寺区玉造元町三十二
電話の六〇六七六八一九七六七
代表取締役 島屋尾 清

活句 だいます
大根

島根県人の溜り場




フ ロ ー ラ

(前島根クラブ青戸) 青戸 保枝

ウィスキー飲み放題 5,000円

ママ手製のカレーライスもどうぞ

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地1-11-20
(大阪駅第3前ビル向い) ハットボーイビル7F
TEL 06-6344-7910 携帯 090-3623-2479


松江商工会議所

会頭 古瀬 誠
 副会頭 田江 泰彦
 副会頭 有澤 寛
 副会頭 兒玉 順
 副会頭 鷗鵜 州
 松江市母衣町五五一四
 TEL 〇八五二一三三一六一六

日本の美 国宝松江城




(一社)松江観光協会 水の都松江 検索
 TEL:0852-27-5843 FAX:0852-26-6869

山陰合同銀行 大阪支店

支店長 **吉川栄司**

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町四丁目三
 (大阪センタービル二階)
 TEL 〇六六二五二一五〇〇
 FAX 〇六六二五二一五四一〇
<http://www.gosin.co.jp>

堺南自家用自動車協会

専務理事 **武田貞雄**

〒590-0157 堺市南区高尾三丁目三〇八
 TEL 〇七二五〇四一三九六六
 TEL 〇七二五〇四一五六〇七

行政書士事務所

代表 **古賀行政**

〒590-0157 堺市南区高尾三丁目三〇八
 TEL 〇七二五〇四一三九六六
 TEL 〇七二五〇四一五六〇七



不動産コンサルティング 売買 賃貸 管理
有限会社 エクスパートナース

不動産のことならお気軽にご相談ください



代表取締役 **内部 茂**

〒531-0075 大阪府大阪市北区大淀南 1-4-18 (梅田スカイビル向い)
TEL : 06-6452-5581 FAX : 06-6452-5455
URL : <http://www.eks-p.com> E-mail : info@eks-p.com

関乃五本松節保存会

会 長 鷗 鶴 修 一

審査部長 三 角 邦 男

〒690-1501 松江市美保関町美保関661

TEL 0852-73-9001

FAX 0852-73-9005

山川・朝夕 本舗

風流堂

本店 〒690-0063 松江市寺町151

TEL 0852-21-2344 風流堂 検 索

株式会社高速オフセット 渡 辺 悟

(近畿松江会常任幹事)

〒530-0001

大阪市北区梅田3-4-5

毎日新聞ビル6階

TEL 06-6346-2801

FAX 06-6346-8849



株式会社 エルム不動産

代表取締役 **木村 恵吉**

KeiKichi Kimura

宅地建物取引主任 大阪第091986号

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2丁目12番14-207号室

TEL.(06)4807-7676 FAX.(06)4807-7677

携帯 080-3108-3330

安心の砂・トキサンドクリーン シルテック

代 表 茂 居 理 智 子

〒543-0015

大阪市都島区善源寺町2-3-23の305号

TEL・FAX 06-6923-5511

携帯電話 090-8889-6341

篠崎倉庫株式会社

代表取締役会長 篠 崎 治

〒650-0023 神戸市中央区栄町通4-1-11

TEL 078-341-6721 FAX 078-361-3647

その他事業所 神戸市中央区弁天町 (シーガルハーバービル)

神戸市中央区栄町通 (エタニティ栄町ビル)

神戸市兵庫区築地町

神戸市灘区灘浜町 (シー・スクエア摩耶)

大阪市豊中市向丘 (豊中ビル)

TAトータルフランニング 「お墓のコンサルタント」

お墓の^{いってん}移転から^{こんりゅう}建立・^{ほまいほう}墓理法に関する
こと等なんでもご相談に応じます

代 表 竹 谷 奨

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34

TEL 090-3054-9159

Email : osktake@ff.iij4u.or.jp

近畿松江会

顧問 荏田 運三郎

〒674-0074

明石市魚住町清水2249-5

TEL・FAX 078-943-1500

近畿松江会

会長 伊藤 征治

〒631-0837

奈良市若葉台1-3-2

TEL・FAX 0742-46-5649

近畿松江会

副会長 小川 龍朗

〒612-8223

京都市伏見区桃山町弾正島14-19

TEL・FAX 075-621-2211

近畿松江会

副会長 井上 隆吉
副幹事長 井上 芳子

〒569-1147

高槻市土室町23-4

TEL・FAX 072-696-7334

近畿松江会

常任幹事 木幡 晃正

〒669-2231

篠山市住吉台12-7

携帯電話 080-7985-6216

事務局から“お知らせ”

近畿松江会にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

今年度の第13回総会・懇親会はニューオオサカホテルで開催致しました。

参加者は目標の100名に少し不足し残念に思いました。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。現在会員総名簿数は294名、入退を重ね159名となっています。

さて先日お知らせしましたが来る11月10日(土)に第56回近畿島根県人会総会・懇親会を当会会長伊藤征治が実行委員長として開催します。まだ間に合います。事務局までご連絡ください。また、来年は松江市訪問ツアーとして総会を松江市で開催、ホーランエンヤを近畿松江会専用席にて観覧します。予約申し込み締め切りは12月25日です。お送りしましたハガキにてお早目にお申し込み下さい。

各種情報やホームページの更新などいち早くお伝えいたしたく、会員各位のメールアドレスの登録をお願い致します。アドレスは携帯電話・スマートフォン・パソコンいずれも結構です。登録は下記 へアクセスしてください。(アドレス変更時も連絡ください)

http://www.kinki-matsuekai.jp/

http://www.kinki-matsuekai.jp/

昨年度より鶴羽孝子常任幹事がホームページ担当となり、日々情報を発信しています。

ホームページお知らせ欄に『会員作品コーナー』を設置しました。木村恵吉常任幹事より季節季節の写真を投稿していただいています。会員の皆様も絵画・手作り作品・ガーデニング等々発表してください。「松江で見つけたこんなもの」なんかもいいですね。

作品画像の送り先はコメントを入れて osktake@ff.ij4u.or.jp まで

< 編集後記 >

「今までに経験したことのないほどの・・・」、「命の危険に関わるほどの・・・」、という言葉、この夏は何度聞いたことでしょうか。日本列島が悲鳴をあげたこの夏でしたが、会員の皆様にも被害や影響を受けられた方が多数いらっしゃるかと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

その心おだやかならぬ日々には編集をしていましたが、総会での朝枝信彦先生の心あたたまるお話や清澄なバイオリンの音を思い出し、また、寄稿集“松江だんだん”にご投稿いただいた5名の方のふるさとへ寄せる思いを読ませていただき、「松江はいいなあ」と、心の落ち着きを取り戻したりしておりました。皆様も是非ご一読ください。

来年は10年ぶりに「ホーランエンヤ」が行われ、松江会の重要な行事としてふるさと訪問ツアーも予定されています。慶安元年(1648年)に大きな凶作があり、松平直政公が五穀豊穰を祈願する祭礼を行ったのが起源と言われていますが、ホーランエンヤは漢字では「宝来遠弥」とも「豊来栄弥」とも書かれるようです。私も来年が災害の少ない年であること祈願しなければとツアーに参加しようと思っていますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、会報を漸くお届けできてホッとしております。いつもながら、すべてのまとめをいただきました竹谷幹事長には心より感謝を申し上げます。

9月17日 広報担当 松本耕司(上本庄町)

表紙について

明々庵より国宝『松江城』を望む 木村恵吉常任幹事の投稿写真を掲載しました。
今年是不昧公（松江松平藩7代藩主 松平治郷）200年祭が開催されています。不昧公ゆかりの明々庵からの展望です。お濠を挟んでお城と同じような標高となりますが、不昧公は庵へ徒歩？駕籠？どちらでお越しだったのでしょか。（写真：明々庵）



近畿松江会役員は松江観光大使の名刺を携行しています。この名刺を下記施設に提示しますとそのグループの皆さんが各施設の所定の割引料金で入場できます。役員へお声掛けいただき、入手のうえ松江にお帰りの際にご活用ください。（名刺例：P-30 広告2段目松本常任幹事）

- 松江城 ○武家屋敷 ○明々庵 ○松江歴史館 ○ホーランエンヤ伝承館
- 堀川遊覧船 ○松江フォーゲルパーク ○小泉八雲記念館・旧居
- 鳥根県立美術館 ※1 ○松江旅館ホテル組合加盟施設 ※2

※1 鳥根県立美術館は名刺持参者に限る

※2 松江国際観光案内所での予約者に限る

松江国際観光案内所 TEL 0852-21-4034 JR 松江駅前

近畿松江会 会報 第11号

■発行：平成30年9月（2018年）

■発行者：近畿松江会 〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町 2-34 竹谷設計事務所内

TEL:090-3054-9159 E-mail: osktake@ff.ijj4u.or.jp

■印刷・製本：株式会社 福谷洋紙店